

令和3年度 広報いさはや 認知症4コマ漫画(全8話)①

(令和3年9月号~令和4年4月号)

新連載!認知症4コマ漫画 vol.1

こんな症状ありませんか?  
何回目?

お薬のんでね

はいはいのむかね

3分経過

薬はのんだかな

のんだよ

3分経過

そつえば薬はのんだかな?

のんだよ

3分経過

薬はのんだかな?

トホホのんだつてば...

**すぐに忘れてしまう (短期記憶障害)**  
もの忘れは認知症の代表的な症状の一つ。脳の「海馬」という部分が障害されることで起こります。記憶をとどめておける時間が数分とたないことも。  
そのため、度重なるもの忘れや記憶が薄れていくことへの不安や焦りから、怒ったり混乱したりする場合があります。

認知症4コマ漫画 vol.2

こんな症状ありませんか?  
この日何の日?

忘れないように書いておこう

メモが書いておかないわー

この日何かあるの?

知らんよ何かな?

**予定忘れ (短期記憶障害)**  
「忘れないように」という気持ちでメモを残しますが、書いたことすら忘れてしまいます。メモは、「忘れてしまう」ことへの不安な気持ちの表れかもしれません。メモのとり方を工夫するなど、周囲の支援で安心感につながる場合があります。

令和3年度 広報いさはや 認知症4コマ漫画(全8話)②

(令和3年9月号~令和4年4月号)

認知症4コマ漫画 vol.3

こんな症状ありませんか？  
何ができた？

鍋こがし (短期記憶障害)  
初期の認知症の記憶障害は、「忘れる」のではなく「覚えきれない」という症状です。昔のことはよく覚えているのに、ついさっきの事は「覚えていない」のが特徴です。鍋こがしなどの失敗を繰り返すと、自信をなくしたり気力が落ちてくる事があります。

認知症4コマ漫画 vol.4

こんな症状ありませんか？  
今日それ？

季節はずれの服装 (見当識障害)  
見当識障害は「今日は何月何日か」「自分が今いる場所はどこか」「この人は誰か」などがわからないという症状です。記憶障害と並んで早くから現れることが多く、服装が季節に合わないなど日常生活に影響を起こしやすいものです。見当識障害は、正常の老化では起こりにくい症状です。

令和3年度 広報いさはや 認知症4コマ漫画(全8話)③

(令和3年9月号～令和4年4月号)

認知症4コマ漫画 vol.5

こんな症状ありませんか？  
もしかしてお金持ち？

お札で買い物 (理解・判断力低下)

認知症が進行すると理解力や判断力の低下が目立ってきます。硬貨の種類が認識できず、小銭での支払いに戸惑いが生まれ、とりあえず紙幣で支払うことに。そのため、財布が小銭で膨らむ、家のあちこちに小銭が貯まる、生活費が足りないと勘違いして貯金をどんどん下ろすなどの症状が起こります。

認知症4コマ漫画 vol.6

こんな症状ありませんか？  
えっと...

調理ができない (実行機能障害)

目標に向かって計画的に物事を行う能力を「実行機能」といいます。料理の他にも洗濯や買い物などの多くの家事は、実は高度な実行機能により行われています。そのため実行機能障害は生活の支障に直結しやすく、その変化は記憶障害より前に気付かれることがしばしばあります。

令和3年度 広報いさはや 認知症4コマ漫画(全8話)④

(令和3年9月号~令和4年4月号)

認知症4コマ漫画 vol.7

こんな症状ありませんか？  
ここだったか…

財布がない (短期記憶障害・不安感)

できないこと、わからないことが増えてくると常に不安を感じるようになります。不安感から大切なものを隠し、そのこと自体を忘れてしまい、「無くした」と探すようになります。無くしたものが突拍子もない場所で見つかることがよくありますが、それは本人なりに精いっぱい工夫した結果なのです。

認知症4コマ漫画 vol.8 最終回

こんな症状ありませんか？  
どうしたの？

家に帰れない (短期記憶障害・見当識障害)

認知症が進行すると、外出した目的を忘れ、自分がどこにいるのか分からなくなる場合があります。日頃、馴染んだ場所も知らない場所に見え、不安になり、焦りや混乱から歩き回ります。本人は知らない場所で一人きりという不安を抱えていますが、周りには、「目的なく動き回る徘徊」に見えているのです。